

# 平成 27 年度 上戸祭小学校 学校評価書

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標：心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。

＝ 心身ともに健康でたくましく，創造力と実践力に満ちた，心豊かな児童の育成 ＝

自分や他人を大切にすることも

進んで学ぶ子ども

たくましく生きる子ども

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

＝ 合言葉：「学ぼう 遊ぼう 友だちと」 ＝

人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して，学校教育目標に掲げた児童の育成を目指す。そして，児童が，社会の中で自分の能力を発揮し自己実現できるようになるために，「できなかったことができる，分からなかったことが分かる」ように，児童と教師と学校の power up を図る。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 児童の power up のために，個に応じた指導を充実させるとともに，保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに，社会性の育成を推進する。
- (2) 児童の power up を支える教師の power up のために，校内研修を計画的・継続的に実施し，授業力の向上を図る。
- (3) 教師の power up を支える学校の power up のために，地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進を図る。

〔星が丘地域学校園教育ビジョン〕

「未来を拓く豊かな社会性の育成」

## 4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

### 【学校運営】

- ・ 未来を見つめ，夢と希望に満ちた学校づくり

### 【学習指導】

- ・ 学んだことを生活の中で活かすことのできる児童の育成
- ・ 互いの意見を生かし主体的に活動する学級集団づくり

### 【児童生徒指導】

- あいさつと言葉遣いを重点とした，望ましい生活習慣と正しい判断力の育成
- ・ 互いのよさを認め合い，他人を思いやることのできる児童の育成

### 【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・ 友だちと豊かに関わりながら進んで運動に取り組み，健康・体力の向上に励む児童の育成
- ・ 体育の授業や行事等の工夫による，運動の日常化

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組に関わる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>市共通アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・児童主体の魅力ある活動を推進しながら、一人一人のよさを認めることで「未来を見つめ夢と希望に満ちた学校づくり」と「心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた心豊かな児童の育成」に努めます。</p> <p>(1)上戸子どもまつりなどの児童会活動や縦割り班活動、各委員会が企画・運営する集会・交流活動を充実させたり、ロング昼休みを有効活用したりして、児童主体の魅力ある活動を推進します。</p> <p>(2)日常的に児童の見取りを細かく行い、児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認め、伸ばす指導に努めるとともに、職員間で情報交換を密にし、職員全体で児童を賞賛できる場を設定します。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 95.1% 保護者の肯定的回答 95.8%</p> <p>・上戸子どもまつりや、各種委員会が創意工夫を生かした活動を行うなど、明るい学校生活の実現を図ってきた。</p> <p>・教育相談や日々の児童の見取りを細かく行い、会議や打ち合わせ等で児童に関する情報交換を行った。児童理解に努め、全職員による指導を行った。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童会、各種委員会活動の意欲的な取り組みを継続させながら、児童主体の魅力ある活動を推進していく。</p> <p>・授業や生活など日常的な場面で、児童を賞賛できる場を設定し、職員で情報を共有し、認め伸ばす指導に生かしていく。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>市共通アンケートの「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・「学ぼう 遊ぼう 友達と」を合言葉として、児童が社会の中で自分の能力を発揮して、自己実現を目指すことができる教育を進めます。</p> <p>(1)授業の初めにねらいを明確に提示し、学び合い活動を効果的に取り入れて分かる授業を行うとともに、個に応じた指導の充実を図ります。</p> <p>(2)教職員は、明るいあいさつを率先垂範し、人権感覚を磨き、丁寧な言葉遣いや誠実な対応を心掛けます。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 98.6% 保護者の肯定的回答 95.6%</p> <p>・授業の初めに本時のねらいを提示し、ねらいに添った学び合い活動を円滑に行えるようになってきた。</p> <p>・児童への言葉かけや保護者への対応を丁寧に実施した。特に問題が生じた場合の保護者への対応を慎重に、迅速に、組織的に対応する体制ができています。</p> <p>【次年度の方針】 ・来年度も、学び合い活動を効果的に取り入れるとともに、個に応じた指導の充実を図っていく。</p> <p>・児童指導・特別支援にかかわる対応を組織的に実施する体制を維持するとともに、さらに人権感覚を磨き、児童・保護者・地域住民への対応を誠実かつ丁寧に心がけていく。</p> <p>・今後も、児童・保護者・地域の方々への明るいあいさつの率先垂範を心がけ、丁寧な対応を心掛けていく。</p>

A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。

【数値指標】

市共通アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」

⇒全体の肯定的回答 85%以上

※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】

市共通アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」

⇒児童の肯定的回答 90%以上

市共通アンケートの「教職員は、児童生徒一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」

⇒教職員・保護者の肯定的回答 90%以上

・あいさつと言葉遣いを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成に努めます。

(1)「かみとよい子のやくそく」と「職員が共通理解しておきたい指導のめやす」を確認したり、児童の実態に応じて指導すべきポイントを絞り込み毎月の生活目標を設定したり、学期ごとに振り返りをさせたりして、集団生活の中できまりを守っていこうとする態度の育成を図ります。

(2)地域や地域学校園内の中学校等と連携して、児童が中心となってあいさつ運動を展開するとともに、登下校時や上戸タイム、朝の会や帰りの会など、さまざまな場で児童の規範意識を高める指導をしていきます。

・学び合いの中で自分の考えをもって進んで表現できる児童の育成を目指して授業改善に取り組むとともに、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めます。

(1)漢字、計算、音読などを発達の段階に応じて取り入れ、基礎・基本の定着を図った上で、分かる授業のための教材研究・授業研究に努め、自分の思いや考えを豊かに表現させながら、学び合いを重視した授業を展開します。

(2)算数におけるチームティーチングの実施や、かがやきルームにおける個別指導の充実などにより、児童一人一人に応じた効果的できめ細かな指導に努めます。

【達成状況】

全体の肯定的回答	91.7%
児童の肯定的回答	89.0%
教職員の肯定的回答	100%
保護者の肯定的回答	93.7%
地域住民の肯定的回答	94.7%

・生活のきまりについて、休み時間のルールなどをボードに掲示することで、全児童に意識づけできるようにした。

・宮っ子チャレンジの際のあいさつ運動などで地域学校園内の中学校と連携した。また、マナーアップ委員会では「あいさつ金メダル」を重点としてあいさつ運動を推進していくことができた。

【次年度の方針】

・きまりやマナーへの規範意識を高めるために、「かみとよい子のやくそく」と「職員が共通理解しておきたい指導のめやす」を中心に、全職員が共通して児童に指導し、学期ごとに行動を振り返らせ規範意識を高めていく。

・昨年度と比較し、地域住民の肯定的回答も上昇したため、引き続き意識の徹底を図る。また、地域学校園内の中学校との連携によるあいさつ運動を継続していく。

【達成状況】

児童の肯定的回答	97.4%
教職員の肯定的回答	96.6%
保護者の肯定的回答	91.2%

・宿題・自主学习・小テストなどを通して、児童の基礎基本の定着を図った。朝のはげみ学習において「計算大相撲」を実施することにより、計算力が向上してきた。

・自分の考えを言葉だけでなく、様々な方法で表現させたことにより、自信を持って自分の考えを述べることができる子が増えてきた。

・かがやきルームにおいて、かがやきルーム指導員との調整をしながら、個別指導の充実を図ることができた。

【次年度の方針】

基礎基本の定着を引き続き図っていく、自分の考えを伝える力は育ってきているので、今後は、自分でいろいろな方法を考えながら自分なりの方法で豊かに表現することを重点的に指導していく。

<p>A5 教職員はいじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>市共通アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・「上戸祭小いじめ防止基本方針」について、全教職員で共通理解を図り、いじめの根絶に努めます。</p> <p>(1)「いじめはどの児童にも起こりうる」との認識の下、未然防止の充実に努め、いじめの起こらない環境づくりに努めるとともに、いじめ防止の取組(いじめアンケート年4回、教育相談年2回等)について各種たよりやホームページ等で、保護者に発信します。</p> <p>(2)いじめを早期に発見できるように、児童が相談しやすい環境を整備するとともに、いじめが起きたときには、事実確認を正確かつ迅速、組織的に行い、被害児童を守り通し、加害児童に対しては「いじめは決して許されないこと」を毅然とした態度で指導します。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 98.2% 保護者の肯定的回答 82.4%</p> <p>・いじめアンケートを年4回実施したり、教育相談を年2回実施したりして、いじめの未然防止と早期対応を行った。</p> <p>・児童の肯定的回答は98.2%と非常に高い。保護者の肯定的回答が低いので、学校としてのいじめ防止の取り組みをHPや学校だよりなどで発信していくことが必要である。</p> <p>【次年度の方針】 ・いじめアンケートの年4回実施、教育相談の年2回実施、携帯所持調査の継続、職員会議後の情報交換の実施などにより、いじめの未然防止と早期対応を行い、その取り組みを保護者や地域に発信していく。</p> <p>・いじめゼロ集会の実施やいじめゼロ標語の作成・ポスターなどの掲示、いじめゼロのロゴを配布物に記入することなどにより、いじめゼロ運動を発展・推進していく。</p>
<p>A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p> <p>市共通アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・特色ある学校づくりや児童の実態に応じた教育課程を計画的に実施するとともに、PDCAサイクルを活用しながらよりよい教育課程となるよう努めます。</p> <p>(1)授業を計画に沿って適切に実施し、「ザ・チャレンジ」「修学旅行」「冒険活動教室」などの学校行事を子どもの主体性を大切にして実施します。</p> <p>(2)学校行事や教育活動についての反省をもとに今後の方針を検討するなどして、教育活動の工夫・改善を図ります。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 92.9% 教職員の肯定的回答 93.3%</p> <p>・計画に沿って授業を適切に実施した。学校行事も、児童が主体となるよう配慮している。</p> <p>・一斉下校を週1回にすることで高学年の負担を減らし、授業時間の確保を行った。</p> <p>・行事の際には反省を行い、次回の改善につなげた。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の反省をもとに行事の精選や充実を図る改善を加えて、各種行事の設定を進める。</p> <p>・行事計画の際、安全面への配慮から、危険防止のために十分な指導を行う。</p>
<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・保護者、地域住民等の学校に対する理解をより一層深めるため、積極的な情報公開に努めます。</p> <p>(1)学校自由参観や児童会の活動、各学年で行う出前授業、文化的行事など、様々な機会を捉えて保護者の参加を促し、学校を保護者や地域に公開します。</p> <p>(2)学校だよりの地区回覧、学年だよりなど各種のたよりの配付、ホームページの適宜更新を行い、学校の取り組みや児童の姿を、分かりやすく紹介します。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 97.7% 地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>・授業参観や自由参観を行い、保護者や地域住民への公開の場を適切に設定してきた。</p> <p>・パブリシティを活用したり、学校だよりはじめホームページを更新したりするなど、定期的な情報の発信がなされていた。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、適切な時期の学校公開の場と各種便りの発信、ホームページの更新を推進していく。</p>

A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。

【数値指標】

市共通アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」

⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上

・保護者や地域の各種団体、企業等の協力を得て、児童が人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させるなどして、教育活動を充実させます。

(1)ボランティア活用のあり方を再吟味した上で、地域コーディネーターと連携し、ボランティアと丁寧な打ち合わせを行い、地域の人材を積極的に活用します。

(2)児童の安全を守るために、PTAや地域ボランティアと協力して、朝の登校指導や集団下校指導、「子ども110番の家」や通学路における危険箇所の確認、引き渡し訓練を実施します。

【達成状況】

教職員の肯定的回答 96.7%

保護者の肯定的回答 97.4%

地域住民の肯定的回答 100%

・地域人材や各種団体を活用した教育活動を取り入れ、児童の豊かな体験活動が実施できている。

・地域ボランティアの方の意欲的な協力のもと、充実した教育活動・教育環境が実現している。

・PTAや地域ボランティアの協力により、児童は安全に登下校することができた。

・PTAが参加する学校保健委員会においては、学校の地震・火災・竜巻などの災害に対する取組を知らせた。また、児童の安全を守るために学校や家庭でできることについて話し合った。

【次年度の方針】

・より充実した学習環境を実現するため、地域コーディネーターとの綿密な連携をさらに図っていく。

・ボランティアの協力については、学校として協力していただきたいことを明確にして、十分な打合わせを実施していく。

・引き続き地域の方々の協力をいただき、危険箇所や児童の様子などの綿密な情報交換を行い、連携を図る。

A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。

【数値指標】

市共通アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」

⇒全体の肯定的回答 90%以上

教職員が率先して日々の清掃を行い、清掃用具の使い方や清掃の仕方についての指導に加えて、全校クリーン活動や清掃強化週間の実施、美化委員会による清掃目標により、自分たちの学校を自分たちできれいにしようとする意識を高めます。

【達成状況】

全体の肯定的回答 92.7%

教職員の肯定的回答 93.3%

保護者の肯定的回答 96.1%

地域住民の肯定的回答 92.5%

児童の肯定的回答 89.4%

・日々の清掃指導や美化委員会による集会活動により、自分たちできれいにしようという意識が高まっている。

【次年度の方針】

・教職員が率先して日々の清掃を行うことで、児童への手本となったり、美化委員会による清掃目標・昇降口清掃などで児童の校内美化への意識を高めたりする。

	<p>B1 学校は地域との連携を図りながら、様々な体験活動や児童の居場所づくりを進めている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケートの「学校は地域協議会等との連携を図りながら、様々な体験活動や児童の居場所づくりを進めている」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・地域協議会や地域コーディネーターと連携を図り、地域の人材やボランティアの協力を得て、豊かな体験活動や居場所づくりを展開します。</p> <p>(1)地域・家庭・学校が連携して、「全校クリーン活動」「ふれあい昼食会」「感謝の集い」を実施したり、ご協力いただいた方々への感謝の気持ちを表す場を設けたりして、地域を愛する気持ちを育てます。</p> <p>(2)宮っ子ステーション「かみタマ」との連携を図り、児童の放課後の多様な体験活動、居場所づくりに努めます。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答 100 %</p> <p>保護者の肯定的回答 96.5 %</p> <p>地域住民の肯定的回答 98.1 %</p> <p>・地域コーディネーターやふれあい地域協議会の全面的な協力をいただき、よりよい学習環境・豊かな体験活動の実現が図られた。</p> <p>・多くの児童が「かみタマ」に参加し、放課後の幅広い体験・学習活動が充実している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「ふれあい昼食会」や「感謝の集い」など、実態に即して活動できるよう精選・改善する。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>OA10 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒全体の肯定的回答 80%以上</p> <p>※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。</p>	<p>○1 マナーアップ委員会を中心にあいさつ運動やあいさつ金メダル運動を実施したり、地域の方やPTA、地域学校園と連携した取組を実施したりして、学校内・外でのあいさつの習慣化を図ります。特に地域の方への元気なあいさつの励行に取り組んでいきます。</p> <p>2 地域協議会を通して、地域の方たちにも学校の取組をご理解いただき、教職員も含めて気持ちのよいあいさつができる関係づくりに努めます。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>全体の肯定的回答 89.0 %</p> <p>教職員の肯定的回答 86.7 %</p> <p>保護者の肯定的回答 85.6 %</p> <p>地域住民の肯定的回答 79.3 %</p> <p>児童の肯定的回答 93.7 %</p> <p>・マナーアップ委員会による朝会や朝の会でのあいさつ運動やあいさつ金メダル運動や指導をおこなっているが、個人差が大きく、地域の方へのあいさつが習慣化されていない。</p> <p>・教職員自ら明るいあいさつの率先垂範に努め、児童が自然なあいさつができるよう啓発することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・マナーアップ委員会のあいさつ運動を継続し、友達だけでなく地域の方への明るい自然なあいさつの励行に取り組んでいく。</p> <p>・地域学校園内の小・中学校・地域協議会と連携し、あいさつ運動を、さらに活発に展開していく。</p>

<p>OA11 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p><b>【数値指標】</b></p> <p>市共通アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」</p> <p>「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」</p> <p>⇒全体の肯定的回答 80%以上</p> <p>※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。</p> <p>B2 児童は、友達と仲良く生活し、楽しい学校生活を送っている。</p> <p><b>【数値指標】</b></p> <p>学習内容定着度調査・学習と生活のアンケート「友達といっしょに過ごすのは楽しいです。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>O1 時・場・相手に応じた適切な言葉遣いについて、道徳や学級活動等の時間を中心に粘り強く指導に努めるとともに、家庭や地域での指導の協力について働きかけていきます。</p> <p>2 日常的に、相手を思いやる「ふわふわ言葉」を使ったり、相手を気遣いながら名前を呼んだり会話をしたりできるように指導を行います。</p> <p>1 清掃活動や交流給食等の縦割り班の活動を充実させ、異学年の交流を図ります。</p> <p>2 児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、Q-U検査の結果の分析活用携帯電話の所持調査などにより、児童一人一人に目を向けた指導に努めます。</p> <p>3 一人一人の児童が居がいをもって学校生活を送ることができるよう、教員が積極的に児童のよさを見つけ、ほめたり言葉かけを行ったりすることに努めるとともに、悩みをもつ児童が教師に気軽に話ができる体制づくりを行います。</p>	<p>B</p> <p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>全体の肯定的回答</td> <td>83.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答</td> <td>79.9%</td> </tr> <tr> <td>地域住民の肯定的回答</td> <td>77.2%</td> </tr> <tr> <td>児童の肯定的回答</td> <td>86.6%</td> </tr> </table> <p>・時と場と相手に応じた言葉遣いの意識は高くなっており、保護者や地域住民の肯定的回答が高まった。今後も道徳や学級活動等の時間を使い、適切な言葉遣いの大切さについて指導し、家庭や地域にも啓発・協力を呼びかけていく。</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>・道徳や学級活動の時間、マナーアップ委員会の集会活動で、相手を思いやる「ふわふわ言葉」や丁寧な言葉遣いの指導・啓発を行うことで、相手を気持ちを考えながら会話をしたり、思いやりのある心の育成を図ったりしていく。</p> <p>A</p> <p><b>【達成状況】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>全体の肯定的回答</td> <td>96.9%</td> </tr> </table> <p>・わかば給食や上戸子ども祭り、各委員会のイベントなどで交流を図ることをとおして、児童の自主性を育てることができた。</p> <p>・職員会議後に児童に関する情報交換を行ったり、いじめアンケートや携帯電話の所持調査、Q-U検査の結果などから児童の生活や悩み・学級集団の特徴や傾向を把握したりすることをとおして、児童理解が深められた。</p> <p>B</p> <p><b>【次年度の方針】</b></p> <p>・ランチルームを活用した交流給食などを通して、異学年交流の充実を図る。</p> <p>・児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、携帯電話の所持調査、Q-U検査の結果の分析活用などにより、児童一人一人に目を向けた指導を継続して行っていく。</p> <p>・一人一人の児童が居がい感をもって学校生活を送ることができるよう、教員が積極的に児童のよさを見つけ、ほめたり言葉かけを行ったりすることに努めるとともに、悩みを持つ児童が教師に気軽に話ができる体制づくりに心掛けていく。</p>	全体の肯定的回答	83.4%	教職員の肯定的回答	100%	保護者の肯定的回答	79.9%	地域住民の肯定的回答	77.2%	児童の肯定的回答	86.6%	全体の肯定的回答	96.9%
全体の肯定的回答	83.4%													
教職員の肯定的回答	100%													
保護者の肯定的回答	79.9%													
地域住民の肯定的回答	77.2%													
児童の肯定的回答	86.6%													
全体の肯定的回答	96.9%													

<p>健康・体力</p> <p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>市共通アンケート「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 「元気っ子健康体力チェック」の結果を踏まえ、体育の授業において、立ち幅跳び、ソフトボール投げの能力を高めるための補強運動や、校庭や体育館の固定遊具施設を有効に活用するための補強運動を行います。 B</p> <p>2 水泳検定カード・持久走がんばりカード、縄跳びカードを活用し、児童がめあてをもって運動に取り組めるようにします。 B</p> <p>3 竹馬、一輪車、縄跳びジャンピングボード等を有効に活用し、児童が楽しんで運動に取り組めるようにします。 B</p> <p>4 スポーツ委員会主催のイベントの充実に努めながら、上戸タイムや昼休み時における屋外遊びを奨励します。 B</p> <p>○1 食育だよりを毎月発行したり、旬の食材を活用した季節感のある給食を実施したりして、食の大切さについて啓発を行います。 B</p> <p>2 食物アレルギーのある児童の保護者との面談及び対応策の検討をして、個に応じた望ましい食習慣を育成します。 B</p> <p>3 教科における「食に関する指導」や給食時の栄養指導等を実施するとともに、各種たよりで取組の様子を伝えていきます。 B</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 85.5% ・児童は上戸タイムや昼休みに校庭で元気に遊び、運動する習慣が身についている。 ・元気っ子健康体力テストにおいて、苦手としている投力を向上させるため、体育時における準備運動や補強運動を工夫するとともに、スポーツ委員会主体のドッジボールフェスティバルを開催したり、各教室に小さいボールを配置し、ボール投げ遊びを奨励したりした。 ・各種検定カードにより、児童がめあてを持って意欲的に運動に取り組んだ。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みを継続するとともに、投力の向上をめざして子どもたちが進んで運動に取り組めるような用具を充実させるとともに、楽しみながら運動できる環境を整え、総合的な体力の向上を図る。</p> <p>【達成状況】 児童の肯定的回答 79.4% 保護者の肯定的回答 73.4% ・児童、保護者の肯定的解答は80%に満たなかった。 ・学校栄養士による給食時の栄養指導、食育だより等において、食の大切さについて啓発した。 ・担任は、嫌いなものでも一口は食べるよう、継続的に指導している。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童の食習慣と密接に関わる生活習慣について、家庭でも協力をいただけるよう情報を発信する。 ・担任は、継続的に給食指導を行っていく。</p>
---	---	--

<p>B3 安全と健康管理に気をつけ、元気に生活している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、安全と健康に気をつけて生活している」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>1 健康診断後に治療依頼の連絡をしたり、保健だよりを発行したりして、健康な生活習慣育成のための情報を提供します。また、給食後の歯磨きを全学年実施します。</p> <p>2 肥満傾向児童に対して、養護教諭と学校栄養職員が栄養健康相談を継続して実施し、家庭と連携して健康な生活習慣の育成を図っていきます。</p> <p>3 自分の命を自分で守ろうとする意識を高めるため、学年に応じた安全指導を行い、避難訓練や、不審者対策、交通安全指導を定期的に行います。</p>	<p>B 【達成状況】 児童の肯定的回答 95.5% 教職員の肯定的回答 96.7% 保護者の肯定的回答 92.6%</p> <p>・栄養士と養護教諭による健康栄養相談を実施した結果、児童の生活習慣の改善への意欲は高まった。 ・本年度は近年頻発する竜巻へ対応した避難訓練を行った。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・耳鼻科など水泳学習の前に治療すべき疾患の受診率は高いが、視力やう歯といった、緊急性の低い疾患の受診率は低いので、早期発見、早期治療の大切さについて啓発していく。 ・自然災害の避難訓練において、自分の命は自分で守ろうとする意識が高められるよう、指導を工夫する。</p>
<p>A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 90%以上</p> <p>学 習</p>	<p>1 自分の考えや思いをまとめて書いたり、発表したりして豊かに表現できる児童を育成します。</p> <p>2 発達段階に応じて、「発表の仕方」や「話の聞き方」のポイントを示し、互いの意見を伝え合い、児童同士で考えを深めていけるような場の設定を行い、話し合いの活性化を図り、学び合う活動を効果的に取り入れて授業を行います。</p>	<p>B 【達成状況】 児童の肯定的回答 92.7% 教職員の肯定的回答 96.6% 保護者の肯定的回答 92.7%</p> <p>・ペアやグループなど様々な学習形態での話し合い活動を通して、自分の考えと友達の考えを比較したり、自分の考えをまとめて話したりする力が育ってきている。 ・自分の考えを分かりやすく説明できるよう発表の仕方のモデルを示し、説明をしたり聞いたりする力を伸ばすことができた。 ・自分の考えを友達の考えと比較したり、メモを取りながら聞いたりする習慣が身に付いてきた。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・授業の中で、児童同士で考えを深めていけるような場を更に多く設定し、話し合いの活性化を図っていく。</p>

	<p>A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 市共通アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p> <p>B4 学校は、家庭と協力して、家庭学習の習慣化を図っている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケートの「児童は、毎日、家庭学習をしている」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 話をきちんと聞く態度を身に付けさせるため、授業や行事などの集会活動において、日常的に聞き方の指導を行います。</p> <p>2 児童が安心して自分の考えをもち発表し、友だちの考えや気持ちを尊重できるよう、活動の目的に応じて学習形態を工夫します。</p> <p>1 家庭学習の手引きに基づき、家庭学習の捉え方について保護者及び児童に周知徹底を図り、各自が計画を立てて家庭学習に取り組めるように支援するとともに、保護者の理解・協力を得て、家庭学習の習慣化を図ります。</p> <p>2 児童の提出した家庭学習の課題やノートによく目を通し、一人一人の学習状況や内容に応じて個別指導を行い、認め励ますことで意欲づけを図ります。</p>	<p>B 【達成状況】 児童の肯定的回答 89.6% 保護者の肯定的回答 92.0% 教職員の肯定的回答 96.6% ・朝会や集会時に集合し、正しい姿勢で最後まで集中して話を聞くことができた。 ・様々な学習形態での活動に慣れ、児童それぞれが目的をもって話合いに参加するようになった。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、活動の目的に応じて学習形態を工夫したり、授業研究会において新しい形態を模索したりしながら、積極的な話合い活動の充実を図っていく。</p> <p>A 【達成状況】 児童の肯定的回答 81.1% 教職員の肯定的回答 89.7% 保護者の肯定的回答 78.9% ・児童は家庭学習をきちんと実施していると思っているが、保護者は十分だと思っていない。 ・学校から与えられた家庭学習の課題には積極的に取り組んでいる様子が見られる。 ・児童のノートや提出物をよく確認し、内容に応じて個別指導を行うことができた。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・家庭学習の時間等を、地域学校園で共通理解を図りながら、家庭学習の手引を有効活用するとともに、家庭学習の重要性について保護者の理解も求め、各自が計画を立てて家庭学習に取り組めるよう学校と家庭双方で支援していく。 ・保護者会・個人懇談等において、個に応じた家庭学習の内容や方法について示していく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 学校は、栄養士と調理員が連携して、安全でおいしい給食を供給し、食育の充実に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケートの「学校の給食は、安全でおいしい」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 旬の食材を活用し、季節感のある安全・安心・おいしい給食を提供します。</p> <p>2 食物アレルギーの対応については、保護者との面談を十分に行い、栄養士、担任、養護教諭、調理員の連絡を密にし、事故のないよう努めます。</p>	<p>B 【達成状況】 児童の肯定的回答 96.3% 教職員の肯定的回答 96.6% ・行事食や郷土料理を取り入れ、いわれについて知らせることにより、食への関心が高まった。 ・学校医の講話により、職員の食物アレルギーについて理解が深まった。</p> <p>B 【次年度の方針】 ・子どもの食の好みを考慮しつつ、栄養や食文化や安全を考えた給食を提供していく。</p>

<p>B6 読書活動の充実に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、本をよく読んでいる」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 朝の図書の貸し出し、ファミリーレーブックの実施、読み聞かせボランティアの活用、読書週間での様々な企画等を通して、読書活動を推進します。</p> <p>2 「ファミリーレーブック」の実践等を通して、家庭読書の充実を図ります。</p> <p>3 家庭の理解と協力を呼びかけながら、効果的な取り組みを継続し、さらに読書の有用性や楽しさを味わえるよう配慮して、読書指導の充実を図っていきます。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答 83.1%</p> <p>教職員の肯定的回答 93.1%</p> <p>保護者の肯定的回答 62.9%</p> <p>・児童は朝の図書の貸し出しをよく利用している。ファミリーレーブックを実施することで、学年相応のいろいろなジャンルの読書ができている。読み聞かせボランティアの活用、読書週間での様々な企画等を通して、児童の読書活動を進めることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・家庭の理解と協力を呼びかけながら、今年度の効果的な取り組みを継続し、さらに読書の有用性や楽しさを味わえるよう配慮して、読書指導の充実を図っていく。</p>
---	---	---

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>《学校運営面》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、授業参観、学校公開などが適切に実施された。また学校だよりをはじめ各種たよりの発行、ホームページなどの活用で、教育活動や児童の様子を広く公開し情報を発信することで、学校に対する理解・協力を得ることができた。</li> <li>・PTA、ふれあい地域協議会、各種ボランティアの協力で、充実した教育活動を行うことができています。</li> <li>・ボランティアの活用については、学校、担任の要望を伝える機会を設け学年や実態に応じた支援を得られるように配慮する必要がある。</li> <li>・PTA親子クリーン活動への参加を増やすため、会員としての自覚を促し、実施日以外にも活動可能日を設けて、全員参加していただくなどの工夫が必要。</li> <li>・登下校や下校後の児童の安全を確保するために、周りからの見守りも大切であるが、「自分で判断し、自分の身を守る力」を育む指導を強化し、家庭や地域にも啓発する。また、見守りボランティアに頼る部分が大きいので、保護者の活動する場面がもっとあってもよいのではないかな。</li> </ul> <p>《生活指導面》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を誉める機会を増やし、触れ合う時間を確保することで信頼関係を築くとともに、Q-U検査の分析、いじめアンケートや携帯所持調査の定期的な実施、教育相談・児童の情報交換等とおして、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に努めてきた。一人一人の児童の理解と十分な実態把握に努め、さらに積極的・組織的な児童指導の充実を図っていく。</li> <li>○地域学校園での今年度の目標である、「明るく元気なあいさつと丁寧な言葉遣い」、「いじめの未然防止」を合言葉に、本校では実践に努めてきた。学校だけでなく、保護者や地域の方への元気なあいさつや正しい言葉遣いができるようになり、それぞれ肯定的評価も上昇している。今後も日々の指導や道徳や学級活動での授業の実践を通して、保護者や地域の方へ取り組みを啓発しながら、継続的に意識の向上に取り組んでいきたい。</li> <li>・学校生活のきまりや交通ルール、生活のマナーについては、地域の方の肯定的回答が高まりつつあるので、児童一人一人の社会生活でのマナーへの意識を高めていけるよう、継続して指導に当たっていききたい。</li> </ul> <p>《体力・健康面》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の下校の仕方が悪い。一斉下校時だけでなく、学年朝会などを利用し、繰り返し指導していきたい。</li> <li>・安全指導の担当者の取組が、教職員や児童に浸透したため、困ったことがあると相談してくるようになり、登下校時の危険やトラブルなど、速やかに対応できるようになった。</li> <li>・引き渡し訓練は、学校公開等の保護者が集まるときではなく、保護者が連絡を受けてから引き取りに来る方が実践的ではないかとの意見が出たが、働いている保護者も多く、学校に来る機会が増えることが負担になることもある。上戸祭小で行う引き渡し訓練は、「引き渡す人が誰であるかの確認」という目的で行っているものであるため、現行でよいのではないかと話し合った。</li> <li>・自然災害に関することは、児童が自分で考えて行動することが必要となるので、訓練のあり方について考えていきたい。</li> <li>・外遊びの奨励については、昼休みに児童指導主任による放送での呼びかけが効果的であった。健康・体力指導部だけでなく、職員の共通理解のもと、取り組んでいくことの大切さを再確認した。</li> </ul> <p>○投力の向上のために、星が丘地域学校園と連携し、協議を重ねながら発達段階に応じたよりよい方法を検討していく。</p>
--

### 《学習面》

○国語科や算数科において、話し合い活動の充実を図ってきた結果、表現力が徐々に伸びてきている。今後は、考えの根拠を明確にしたり、表現方法を自分で選んだりできる力を身に付けさせていきたい。

- ・かがやきルームの活用を通して、個に応じた指導の充実を更に図っていく。
- 家庭学習のやり方や時間について、学年に応じた助言や指導を、児童だけでなく保護者に向けても行っていく必要がある。
- ・今後も、児童の読書活動が活発になるよう働きかけを積極的に行っていく。

## 6 学校関係者評価

### 《学校運営面》

- ・ボランティアの活用については、ボランティアと学校側とのコミュニケーションをとることが大切。ボランティアは、学校からの要望があったほうが動きやすいと思う。計画的なボランティア活動ができるよう、話し合いの場があるとよい。
- ・PTA親子クリーン活動は、夏休み明けの最初の土曜日に定着させて、参加者を呼びかけていきたい。掃除の場所の分担は、場所によって差がないようにするとよい。
- ・登校指導に関しては、PTAの生活指導委員会で毎週月曜日に立哨している。下校については、見守りボランティアに頼る部分が多いが、見守りボランティアはやりがいを持って活動しており、その輪ができています。また、保護者が、ローテーションで出ている育成会もある。

### 《生活指導面》

- ・児童のあいさつ、言葉遣いについては、家庭でしっかりとしつけをするとよいと思う。子どもは誰が地域の人か分からないと思うが、見守り活動をしている人には、あいさつができると思う。言葉遣いについては、教職員は100%が肯定的回答だが、児童の肯定的回答は86.6%にとどまっている。児童は、先生には正しい言葉遣いができているが、子ども同士だとできないこともあるのではないだろうか。

### 《体力・健康面》

- ・保護者が連絡を受けてから引き取りに来るという引渡し訓練だと、車で迎えに来る保護者が多くなり、混雑することが考えられる。連絡を受けてから引き取りに来る引渡し訓練をやるのならば、無理にではなくやってみたいという協力者を募って、実施する方法もある。職場から学校までどれくらい時間がかかるかが分かり、よい経験となる。
- ・体力面では投力に課題があるということだが、確かに、ボールを投げる遊びが少なくなり、ボールを投げる機会が減っている。投げ方もうまくない。

### 《学習面》

- ・家庭学習には、宿題と自主学習が含まれるが、自主学習の内容、量には個人差が大きいと思う。どの子も主体的に家庭学習での自主学習に取り組むことができるよう、先生の力をお借りしたい。
- ・ザ チャレンジの騎馬戦については、安全確保と競技の意義を考慮して、やり方を検討するとよい。
- ・保護者や地域の理解・協力が得られるように、学校側は、積極的に情報を発信してほしい。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

・今年度も、家庭、地域との連携協力による取り組みの充実に努めてきた。その結果、学校評価全体において、好意的、建設的なご意見ご提言をいただくことができた。これらを真摯に受け止め、次年度以降の学校運営改善に活かしていくとともに、学校教育活動に対する理解が深まるよう、折にふれ、そのねらいや意図について、家庭、地域に情報を発信することに努め実践していく。

○あいさつについては、教職員が率先垂範に努めるとともに、日々の指導や道徳や学級活動での授業の実践を通して継続的に意識の向上に取り組んでいく。また、機会をとらえて地域の方にもあいさつについて協力をお願いする。

○家庭学習については、地域学校園で共通理解を図りながら、家庭学習の手引を有効活用するとともに、家庭学習の重要性について保護者の理解も求め、どの子も計画を立てて主体的に家庭学習に取り組めるよう学校と家庭双方で支援していく。

・次年度は、拡張したランチルームを活用した交流給食などを通して、異学年交流の充実を図り、児童がより楽しい学校生活を送れるような取り組みを推進する。